

まち・ひと・しごと創生における 自治体との連携

平成28年11月21日(月)

学校法人麻生塾
麻生情報ビジネス専門学校北九州校

【連携の概要】

■ (株)メンバーズ、北九州市との連携(2011年～)

企業誘致を積極的に行う北九州市において、東京に本社を置くIT関連企業(株)メンバーズの誘致を実施。2015年に北九州の拠点を開設し、2020年3月までに現地での200名の雇用創出を行うことを目指す。



主な連携内容

- ・連携授業の実施 ・本校での会社説明会、入社試験の実施
- ・キャリアセミナー(セミナー、ワークショップ、模擬面接等)の実施
- ・職業実践専門課程の教育課程編成委員、および学校関係者評価委員の委嘱
- ・オープンキャンパスにて、メンバーズ北九州オフィスでの見学、業界・会社説明会実施
- ・北九州市主催 技術セミナーを本校開催(最優秀賞はメンバーズ本社のインターンシップに参加)等



【株式会社メンバーズの概要】

事業内容 企業Webサイトやソーシャルメディアの制作・運用が柱

上場市場 東証二部、名証二部

本 社 東京都中央区晴海

ウェブガーデン仙台 宮城県仙台市青葉区一番町

ウェブガーデン北九州 福岡県北九州市小倉北区紺屋町

社 員 数 447名(有期雇用社員含む)(2016年3月末時点)

【背景1】

北九州市

- ・1963年 5市による新設合併により誕生
- ・高度経済成長期は「鉄の街」「ものづくりの街」として確固たる地位
- ・現在も、鉄鋼、化学、金属といった重化学工業が経済の基礎



経済力の低下

「国内総生産」に占める「北九州市内総生産」の割合

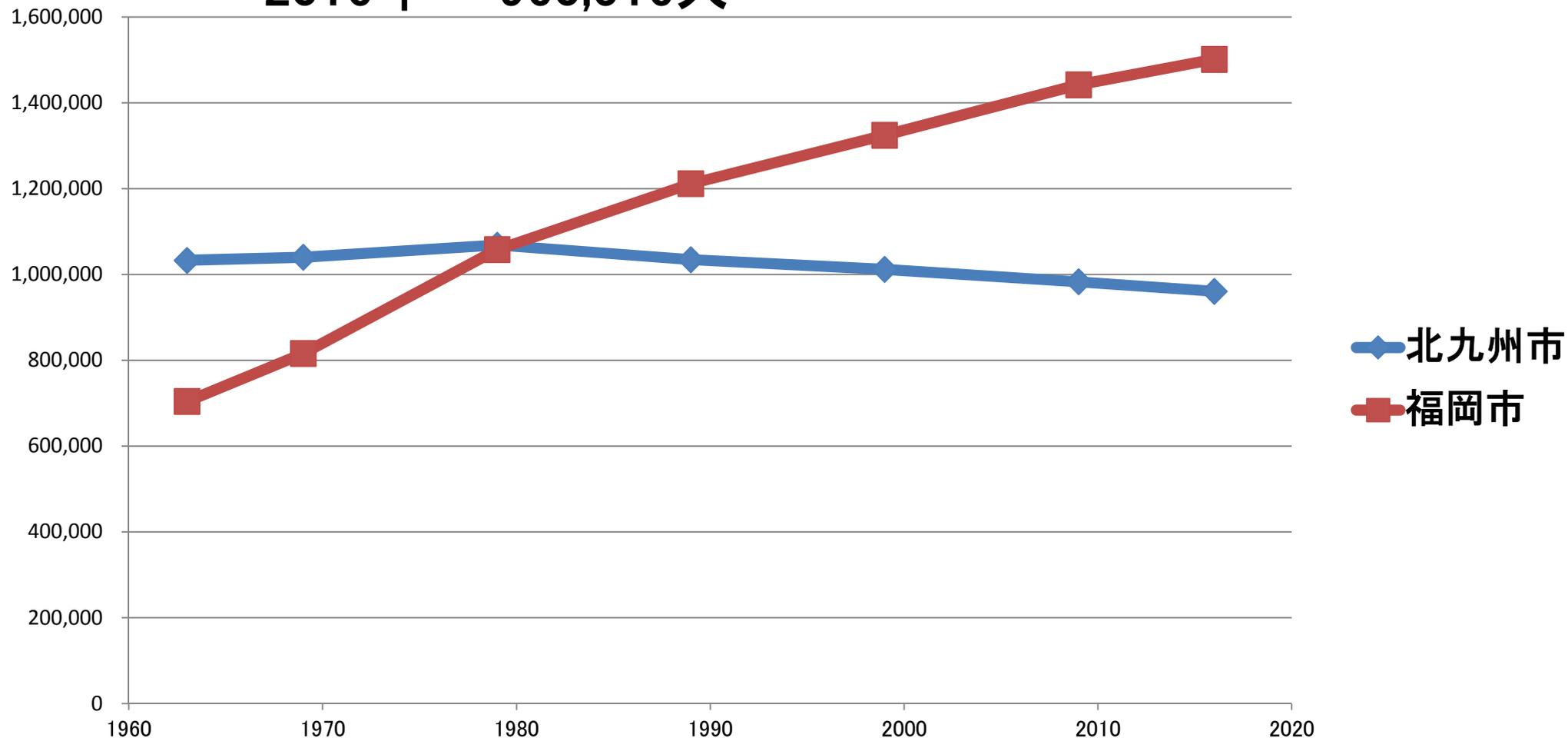
1979年 1.19 % をピークに減少

2014年 0.70 %

【背景2】

人口の減少

1963年 1,032,648人 北九州市誕生
1979年 1,068,415人 をピークに減少
2016年 960,516人



【北九州市の戦略（北九州市産業雇用戦略/平成20～24年度）】

● 情報関連企業など、成長産業の集積促進

北九州市にとってのメリット

IT企業は、雇用創出効果と所得水準が高い ➡ 市民所得の向上

企業にとってのメリット = 誘致時のセールスポイント

- ・市内には理工系大学、高専、情報系専門学校等が多く、優秀な人材を確保しやすい

学校にとってのメリット

- ・地元志向の学生や保護者が多い中、地元の就職先が増え、学生や保護者の満足度を上げることが出来る

【北九州市の誘致活動(人材面)】

1. 各学校との連携関係作り

企業と学校との関係構築に関する各種支援

2011年10月

北九州市の方が(株)メンバーズ常務を本校に帯同され、
双方の紹介、教職員との意見交換会を実施

2. 人材育成支援

企業のニーズに合わせた実践的な講座の開催等

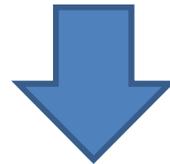
2014年2月 2014年11月 2015年10月

専門学校生、高専生、大学生向け技術セミナー開催
(Webアプリケーション講座、Webデザイン講座)

【専修学校として、麻生塾が期待された役割】

- 企業ニーズにあわせた柔軟な人材育成

企業の成長に伴い、企業の求める人材ニーズも将来的に変化

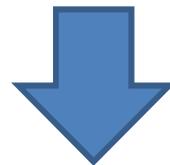


専修学校では、柔軟にカリキュラムに反映可能



職業実践専門課程の要件でもある各種委員を

(株)メンバーズの常務、北九州市の企業立地支援課長に委嘱



企業ニーズをカリキュラムへ反映

【北九州市⇔本校 の連携1】

1. 北九州市による企業紹介に対する対応

2. 北九州市 企業立地支援課長に職業実践専門課程の委員を委嘱

2013年10月～ 現在／北九州市 産業経済局 企業立地支援部 企業立地支援課
課長に教育課程編成委員を委嘱

(現在は、企業支援・産学連携部 情報・通信産業担当課長)

3. 北九州市主催のメンバーズ技術セミナーに会場を提供

4. 北九州市主催のメンバーズ技術セミナーに学生が多数参加

2014年2月以降 3セットの技術セミナーを積極的に学生へ告知し、
毎回多数の学生が参加

3名の学生が最優秀賞を受賞し、(株)メンバーズ本社のインターンシップに参加

【北九州市⇔本校 の連携2】

5. 北九州市主催の(株)メンバーズ本社見学・意見交換会に参加

2014年3月 北九州市が主催した、学校関係者向けの
(株)メンバーズ本社見学・意見交換会に、本校教員が参加

6. 北九州市と(一財)地方自治研究機構の調査研究に委員として参加

7. 北九州市と(一財)地方自治研究機構の調査研究に学校が協力

【(株)メンバーズ⇔本校 の連携1】

1. 本校において会社説明会、入社試験の実施

2013年 3名、2014年 2名、2015年 2名、2016年 4名、計11名入社

2. メンバーズ常務によるキャリアセミナーの実施

2012年7月～現在 年4回程度／本校学生に対し、セミナー、ワークショップ、模擬面接等のヒューマンスキル面での教育を実施

3. メンバーズ常務に職業実践専門課程の委員を委嘱

2013年10月～現在 教育課程編成委員、学校関係者評価委員

4. 連携授業の実施

2014年5月～現在 Web制作に関する連携授業を実施

【(株)メンバーズ⇔本校 の連携2】

2015年4月 ウェブガーデン北九州(メンバーズ北九州オフィス)開設

5. オープンキャンパスにおいて、企業見学会の実施

6. メンバーズ主催「Web人材の育成に関する意見交換会」に参加

【連携のメリット】

北九州市にとってのメリット

(まちの創生)

- ・企業誘致の成功⇒雇用(しごと)の創生⇒市民所得の向上、人口増
- ・今後の誘致のための情報収集(企業のニーズ、学生のニーズ等)

企業にとってのメリット

- ・人材(ひと)の確保←必要とする人材の育成、採用、退職防止
- ・将来的な人材確保のための種まき←高校生の業界、企業理解

学校にとってのメリット

- ・地元での優良な就職先の増加←優良とは入社後のフォローも含む
- ・企業が必要とする人材(ひと)の創生←企業と共に育てる
- ・入学者増←Web業界、メンバーズをめざす高校生の入学
- ・企業、学生、保護者のニーズの正確な把握

ご清聴ありがとうございました

学校法人麻生塾
麻生情報ビジネス専門学校北九州校